



～自治調査会だより～

2023
6

NO. 117

[発行日]
2023.6.1



多摩湖(村山貯水池)には、日本で一番美しいと言われる取水塔があります。

【写真提供】東大和市【撮影場所】多摩湖

Contents 6月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年
 - ・記念ロゴマークが決定しました! 2
 - ・フォトコンテストを開催します! 2
 - ・多摩市町村のあゆみ～多摩地域の鉄道史～ 3
- ▶ シンポジウム開催のお知らせ
その政策、住民に届いていますか?
～行動変容を促すナッジを活用した社会課題解決～ 4
- ▶ わたげ探偵!! こんな調べてみました!
～島に行ってみよう 大島～ 6
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 8
 - 町田市 生物多様性保全促進事業
 - 小金井市 次世代自動車普及促進事業
 - 大島町 地域に花を咲かせる事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・第30回TAMAとことん討論会実施報告 9
 - ・TAMA市民塾2023(令和5)年10月開講 塾生募集案内 10
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～東大和市～ 12



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開していきます。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

多摩東京移管130周年

記念ロゴマークが決定しました！

多摩地域30市町村の職員から募集した「多摩東京移管130周年記念ロゴマーク」が決定しました。

ロゴマーク



(武蔵野市建築指導課 増田 裕介さん 作)

【作者による作品説明】

多摩地区の自然環境と都市の街並みが共存する風景を「自然と都市のグラデーション」ととらえ、曲線と直線が対比しながらも融合するように図案化した。

【作品選定理由】

コンセプトを引き算してうまく抽象化したデザインで「130周年」と「多摩」という伝えたいことをストレートに表現しており、視認性が高く、「多摩東京移管130周年」が伝わりやすい。

ロゴマークの使用

当調査会では、記念イベント、事業などで本ロゴマークを活用することにより、多摩東京移管130周年の周知を図っていきます。

本ロゴマークは、規程、仕様書に基づき、広く広報物等に使用することができますので、今年度にイベントなどを実施される予定の方は、ホームページをご覧ください、是非、ご活用ください。

なお、使用実績の参考とするため、ご使用の際は、以下の問合せ先の電話、ファックスまたはホームページの問合せフォームのいずれかにて使用場面をご連絡ください。

問合せ (公財) 東京市町村自治調査会 総務課

TEL 042-382-0068 FAX 042-354-6057

ホームページ https://www.tama-100.or.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlId=1227



フォトコンテストを開催します！



多摩東京移管130周年を記念して、フォトコンテストを開催します！

伊豆諸島東京移管145年、小笠原諸島復帰55年と併せて、多摩・島しょの絵になる一枚を近日中に募集する予定です。

詳細は、決定し次第、本紙及びホームページでお知らせいたします。

多摩市町村のあゆみ

本紙5月号では、多摩地域が神奈川県から東京府に移管された経緯を紹介しました。今回は、移動の手段として欠かせない多摩地域の鉄道網の発達について見ていきましょう！

～多摩地域の鉄道史～

① 東西か？南北か？

明治維新後、多摩地域でも鉄道敷設を望む声が大きくなっていきます。多摩が東京へ移管される以前の1886(明治19)年には、東京と八王子を結ぶ甲武鉄道(現・JR中央線)と、八王子と川崎を結ぶ武蔵鉄道が相次いで出願されます。神奈川県知事は、東京府を迂回せずに、生糸を八王子から横浜へ運ぶ利益を主張します。しかし、内務大臣山県有朋が東京を起点とする旨の基本方針を示したこと、青梅・所沢・飯能からの荷は、その当時も東京を經由して出荷されているので東西方向を優先すべしとの考え方により、甲武鉄道に免許が下り、1889(明治22)年に開業しました。



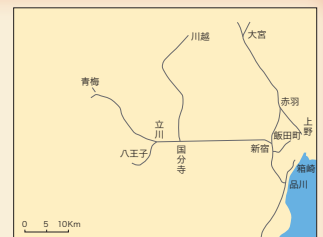
甲武鉄道開業当時の錦絵
(たましん地域文化財団所蔵)

② 鉄道網の充実

多摩地域の鉄道網の発達を整理すると次の4期に区別できます。

第1期 [1872(明治5)年～1897(明治30)年頃]

第一次私鉄熱に乗じて甲武鉄道が開業し、続く第二次私鉄熱で、青梅鉄道・川越鉄道が開業しました。



第1期：明治28(1895)年

第2期 [1897(明治30)年～1921(大正10)年頃]

東京市内の鉄道が整備されていくのと同時に、郊外に延びる街道沿いに郊外電車が建設される時期にあたります。京王電気軌道、東京砂利鉄道、多摩鉄道、武蔵野鉄道などが開業しました。



第2期：大正9(1920)年

第3期 [1921(大正10)年～1955(昭和30)年頃]

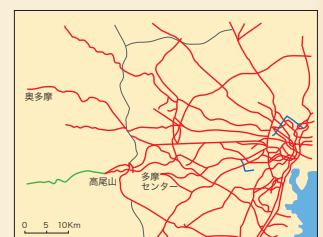
郊外住宅地の開発や、関東大震災・第二次世界大戦後の東京・横浜の復興と再開発のために大量の砂利輸送が必要となり、電化による高速輸送が導入されたのがこの時期になります。都市と郊外の結びつきが強まり、沿線の観光開発も進みます。



第3期：昭和15(1940)年

第4期 [1955(昭和30)年以降～]

車両の大型化と編成の長大化、線路の複線化が進みます。かつては砂利や石灰石の輸送に活躍した青梅線・五日市線・南武線の沿線も住宅化が進み、これらの鉄道も通勤鉄道としての役割が大きくなりました。同時にレジャーブームの高まりの中で、これらの路線では、観光客輸送の重要性も増してきました。



第4期：昭和51(1976)年

東京を中心とした交通網の確立

(青木栄一「多摩の鉄道—そのあゆみと背景—」『多摩のあゆみ』第2号、1976年)

凡例 (第1～第4図共通)
— 非電化鉄道
— 低速度電車
— 高速電車
— 電化はされているが運転間隔の長い区間
※東京市営軌道・モノレール・貨物線・新幹線は省略

シンポジウム開催のお知らせ

2023年度(令和5年度)調査研究結果発表シンポジウム

その政策、
住民に届いていますか？～行動変容を促す **ナッジ** を活用した社会課題解決～

2023年

7/21 金

参加無料

13:30～16:45

(受付開始12:30)

府中市市民活動センター
プラッツ バルトホール
東京都府中市宮町1丁目100
ル・シーニュ 5階手話通訳
要約筆記
あり

プログラム

13:30 開会

13:40

基調
講演**行政現場におけるナッジの効果的な設計方法と活用メリット**
佐々木 周作 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授

14:20

調査研究
結果発表**自治体におけるナッジの活用に関する調査研究結果**
安本 正義 元(公財)東京市町村自治調査会 研究員

14:40 休憩

15:00

パネル
ディスカッション

コーディネーター

佐々木 周作 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授

第1部 自治体におけるナッジの活用の動向や課題

パネリスト

職員発案のナッジ理論活用について

清水 隆朝 塩尻市総務部税務課 課長補佐

つくば市のナッジ取組事例とナッジ・ユニットの役割

金野 理和 つくばナッジ勉強会(都市計画部学園地区市街地振興課主査)

ナッジに係る全国的な動向や自治体が共通して抱える課題

高木 佑介 横浜市行動デザインチーム(YBiT) 副代表

第2部 自治体におけるナッジの活用に係る意見交換

16:45 閉会

出演者



佐々木 周作



清水 隆朝



金野 理和



高木 佑介

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、やむを得ず中止となる場合があります。

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会



2017年に環境省において日本版ナッジユニットBESTが立ち上げられて以降、様々な自治体・分野等でナッジが展開されています。ナッジは低コストでも効果が得られるなどの特徴があることから、職員の工夫やアイデア次第で取り組むこともできます。本シンポジウムは、ナッジの効果や影響、課題や取組事例などを提示し、ナッジの活用が住民にとっても職員にとってもメリットのある取組だと理解してもらうとともに、ナッジの考え方が自治体に浸透し、ナッジが効果的に活用されるためのきっかけとなることを目的としています。

出演者プロフィール



佐々木 周作 (ささき しゅうさく)

大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授

大阪大学感染症総合教育研究拠点・特任准教授。京都大学経済学部を卒業後、三菱東京UFJ銀行（現・三菱UFJ銀行）に入行。退職後、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程にて、博士号（経済学）を取得。日本学術振興会特別研究員DC1及びPD・京都大学大学院経済学研究科特定講師・東北学院大学経済学部准教授を経て、現職。専門は、応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。行動経済学会の理事とともに、環境省・経済産業省等の中央府省庁や地方自治体で有識者委員やアドバイザーを務める。

講演内容 ナッジの概要、政策活用のきっかけと広がり、実践するうえでのポイントと活用するメリット



清水 隆朝 (しみず たかとむ)

塩尻市総務部税務課 課長補佐

2002年塩尻市入庁。初任の秘書広報課で担当した広報紙が、全国広報コンクールで5席入選。その後、建築住宅課、県庁派遣、税務課、農政課、市民交流センターで勤務した他、教育委員会では教職員の働き方改革に携わるなど、様々な経験を積む。2019年、税務課に係長として戻り、自らナッジ理論を学び、住民税の申告率向上に寄与するチラシを作成。2023年度早稲田大学人材マネジメント部会に参加するなど、意欲的に学び続けている。

講演内容 職員発案のナッジ理論活用事例や活用に至るまでのプロセスの紹介、庁内の巻き込み方、目標設定など



金野 理和 (こんの りわ)

つくばナッジ勉強会(都市計画部学園地区市街地振興課主査)

産業振興担当、スポーツ振興担当等を経て、2019年「つくばナッジ勉強会」設立時にたまたま声をかけられたのがナッジとの出会い。人間の幸福実現に直結しそうなナッジに大きな魅力を感じ、現在は政策にナッジやEBPMを活用していくよう庁内の普及促進に取り組む。2021年には「封筒メッセージの効果(避難行動要支援者名簿)」の事例でベストナッジ賞受賞。

講演内容 ナッジの効果検証の方法と庁内にナッジを広める工夫



高木 佑介 (たかぎ ゆうすけ)

横浜市行動デザインチーム(YBiT) 副代表

英国大学院で社会政策を学ぶ中で、ナッジ等の行動科学に出会う。環境政策分野の研究機関等を経て、2013年に横浜市入庁。横浜市有志職員により立ち上げられたYBiTでは、地方自治体向けのナッジ基礎研修やナッジの事例創出支援に取り組むとともに、WHOやシンガポール政府との連携など、国際連携を担う。海外の行動科学コミュニティから学びつつ、日本の自治体の取組を世界に発信したいという思いで活動中。

講演内容 ナッジの最新の活用動向と多くの自治体が抱える課題・対応策

会場案内

府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

東京都府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ5階

京王線利用の場合 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線利用の場合 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分

P 駐車場(有料)

自転車 駐輪場(有料)



参加申込方法

申込締切

先着 40 名

※当日参加不可

7/7 金 必着

WEB <https://e.try-sky.com/kenkyu/>

FAX 「参加申込用紙」にご記入の上、下記事務局まで

郵送 「参加申込用紙」と同じ項目をご記入の上、下記事務局まで



- 先着順に「参加証」をお送りします(お申込み後、1週間程度で発送)
- 当日、受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場ください
- 多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自自治体研修担当を通じてお申込みください
- 複数名でのお申込みの場合は、参加申込用紙をコピー等でご対応ください

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、参加可否を通知するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的で利用・提供はいたしません。
※万が一新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただく場合があります。

参加申込用紙

※下記の項目についてご記入ください。*印は記入必須項目です。

お名前(ふりがな)*

住所* 〒

TEL*

FAX

E-mail

パネルディスカッション登壇者に質問したいことなどをご記入ください。

※当日登壇者より回答させていただきますが、時間の都合によりお答えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。※シンポジウム当日の質疑は予定しておりません。

参加申込
お問合せ

2023年度(令和5年度)調査研究結果発表シンポジウム事務局(株式会社トライ内 10:00～18:00 土日・祝日を除く)
〒113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 TEL.03-3824-7231 FAX.03-3824-7250 E-mail:kenkyu@e.try-sky.com



わたげ探偵!!こんな調べてみました!

～ 島に行ってみよう 大島 ～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!

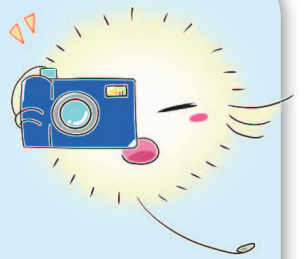
今回は **大島にどんなスポットがあるか旅してみたよ♪**

ながね
長根

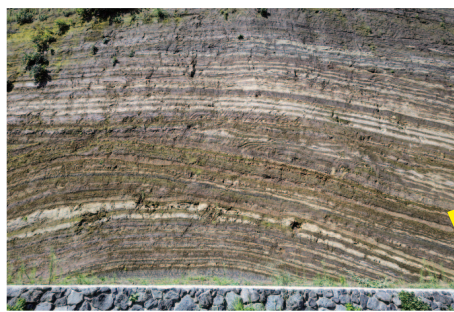


長根は、山腹で起きた割れ目噴火の溶岩流が沢を下って低い土地を埋め立てながら海まで流れ込み、その後、硬い溶岩だけが岬として残ったんだ。天然の栈橋みたいだね!

元町港から長根までは歩いていけるんだ。元町港の近くの道路沿いは南国の雰囲気だよ♪

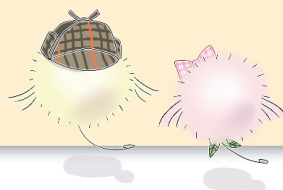
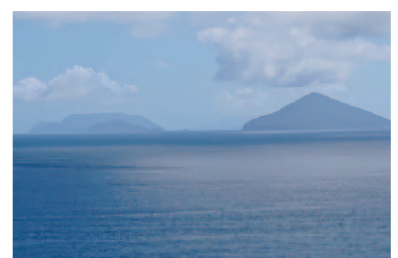


ちそうだいせつだんめん
地層大切断面



地層大切断面は、道路建設工事のために山を削ったときに発見されたものだよ。約2万年間に繰り返し起こった大噴火、約100回分の噴出物が巨大な縞模様をつくりあげたんだ。巨大なバームクーヘンみたいだね!

地層とは反対側に目を向けると、洋上には利島、新島、式根島、神津島、空気が澄んでいる日には三宅島、御蔵島まで眺めることができるよ。



🔍 アクセス

【航 路】

竹芝栈橋→大島（東海汽船） 高速ジェット船 約1時間45分
大型客船 約8時間

【空 路】

調布飛行場→大島空港（新中央航空） 約25分



みはらやまがいらんざんてんぼうだい 三原山外輪山展望台



三原山を一望できる展望台で、目の前に広がる平らなくぼ地(カルデラ)の中に、江戸時代の大噴火で誕生した三原山が見えるよ!ここから山頂遊歩道を約40分歩くと三原山内輪山の火口付近まで行くことができるんだ。山頂遊歩道でもデコボコ、ゴツゴツした溶岩を見ることができるよ。ちなみに、三原山の黒いスジは、1986年の噴火で山頂の火口からあふれ出た溶岩流の跡なんだって。

三原山
中央火口

大島一周道路

みはらやまちゅうおうかこう 三原山中央火口



三原山内輪山の火口付近に到着すると、巨大なおはぎ!?!のようなものが見えてきたよ。火口から溶岩流に乗って運ばれてきた大量のマグマのしぶきがくっついてできた岩なんだ。

三原山中央火口では、「お鉢巡り」といって、直径300～350メートル、深さ約200メートルの火口を見下ろしながら、周囲をぐるりとひと回りできるんだ。海側の景色もきれいだよ!



◆最新情報は各ホームページなどでご確認ください。



オール東京62市区町村共同事業

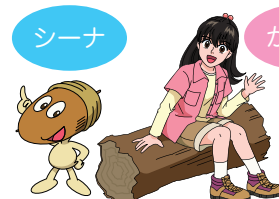
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

シーナ

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

1 町田市

生物多様性保全促進事業

町田市は生物多様性の保全についての意識啓発に取り組んでいます。その一環として、市内の生きものやすみかを紹介する「まちだ生きもの探しマップ」を配布しています。2018年度に第1版、2019年度に第2版を発刊し、このたび第3版を発刊しました。

緑や水辺に親しめる場所を掲載し、市民協働の生きもの調査「生きもの発見レポート」で届いた生きもの情報、特徴的な環境（里山、源流、街中など）とそこをすみかにする生きもの、外来種や絶滅危惧種など、様々な情報を紹介しています。市ホームページで公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。

【問合せ先】町田市 環境共生課 TEL 042-724-4391



2 小金井市

次世代自動車普及促進事業

小金井市では、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け、ライフスタイルの変革による脱炭素行動を一人ひとりが始める契機となるよう、次世代自動車を購入した市内の個人及び法人・個人事業主を対象として補助金を交付する「次世代自動車普及促進事業」を行っています。

この事業を継続することにより、市域から排出される温室効果ガス排出量の削減を図っていきます。

【問合せ先】小金井市 環境政策課 TEL 042-387-9817



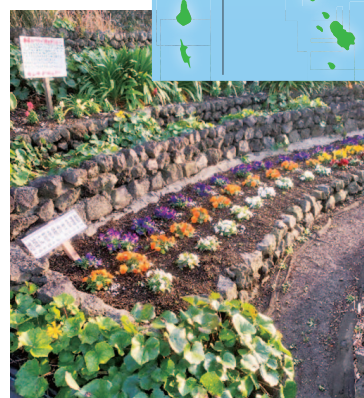
3 大島町

地域に花を咲かせる事業

大島町では、町内各地区の婦人会が主体となり、地域に花を咲かせる事業を実施しています。地域ごとの主要道路沿いにある花壇や空き地などに季節ごとに花を咲かせ、島民や観光客にやすらぎと小さな感動を与えることを目的に事業を実施しています。また、海岸線などに多く繁殖している「クロマツ」などの景観や防風林としての役割を保つため、松枯れ対策も実施しています。

これら事業を継続し、花と緑にあふれたまちづくりと、さらなる地域コミュニティの活性化をめざしていきます。

【問合せ先】大島町 政策推進課 TEL 04992-2-1444





多摩交流センターだより

第
30
回

T A M A
とことん

討 論 会

実施報告

【主催】第30回TAMAとことん討論会実行委員会

(NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦、(公財)東京市町村自治調査会)

【後援】東京都・東京都市長会・東京都町村会・多摩市・多摩ニュータウン循環組合

(公財)東京都リサイクル事業協会・(一社)廃棄物資源循環学会

2023年3月4日(土)、聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター6階のアウラホールにて「ごみ問題は自分ごと～多摩地域の取組みから考える～」をテーマに、第30回TAMAとことん討論会を開催しました。今回は会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催し、会場には50人ほどの人たちが集まりました。

今回は第30回となる節目にあたることから、あらためてごみ問題をすべての人が自分自身の問題であると捉えるところから再スタートしたいと考えました。

自分ごととして考え行動する人を増やす方法、我慢を重ねるのではなく楽しみも取り入れた活動などの事例を交えながら、多摩地域のごみ問題を真剣に考える時間を持つことができました。

また、ごみ問題を自分ごととして考えるきっかけとして事前に作文と川柳の募集をし、当日入賞者の発表を行いました。

プログラム (敬称略)

- 主催者あいさつ 小石 恵子 (第30回TAMAとことん討論会実行委員長)
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦代表理事)
- 来賓ごあいさつ 阿部 裕行 (多摩市長) ビデオメッセージ
- 調査報告 鈴木 隆志 (東京・多摩リサイクル市民連邦)
- 話題提供1 自治体の政策づくりと市民参加 ～多摩地域での試みから～
長野 基 (東京都立大学都市環境学部都市政策科学科准教授)
- 話題提供2 市民として きっかけは大学のサークル
高野 研一 (東京・多摩リサイクル市民連邦)
- 話題提供3 市民団体として 使った食器の行く末を考える
柏原 君枝 (小金井市消費者団体連絡協議会)
- 話題提供4 再資源化事業者団体として リサイクルに関心を持ってもらうための取組み
紺野 琢生 (東多摩再資源化事業協同組合)
- 話題提供5 作文・川柳募集企画の背景および優秀作品発表
江尻 京子 (東京・多摩リサイクル市民連邦)
- ディスカッション コーディネーター 山本 耕平 (ダイナックス都市環境研究所)
- 閉会あいさつ 松尾 尚之 (公益財団法人東京市町村自治調査会企画調査部長)



▲話題提供



▲ディスカッション

作文・川柳受賞者 (共催 エコにこセンター) (敬称略)

● 作文「わたしがごみを減らす理由(わけ)」

優秀賞 国里 朋代
佳作 山崎 乙女

● 川柳「ふと思った“ごみ”のこと」

エコにこセンター長賞 北出 陽菜・長谷川 真由美
佳作 中川 琴葉・原 剛志・大熊 亨子

多摩
30市町村
対象

TAMA 市民塾 2023(令和5)年10月開講 塾生募集案内

【募集期間 2023(令和5)年6月1日(木)～7月7日(金)】

公募による講師と市民の発想・企画・運営による新しい生涯学習(楽習)のステージ『TAMA 市民塾』ユニークで楽しさあふれる講座を用意してお待ちしています。

- 開講期間 2023年10月～2024年2月 ※今回は5カ月講座となります。
○会場 多摩交流センター(京王線府中駅北口徒歩3分)
○共催 TAMA 市民塾・(公財)東京市町村自治調査会



TAMA 市民塾

No.・講座名・講師名	講座内容	回数・曜日・時間・定員
No. 1 低山逍遥(野山を歩く) 秦 和寿	疫禍で消耗した身体を野山にゆだね、ゆっくり低山を歩きます。秋の自然のなかで心の安寧を取り戻し日常に備えます。生物観察と虫刺されやマダニの防ぎ方も実施します。 (交通費は各自負担、ハイキングの装備と昼食は各自準備)	月2回・全10回 第1・3月曜日 (第1回は10/2) ※1月は日程変更あり 9:00～16:00(24名) ※フィールドワーク (初回は座学)
No. 2 話してみよう韓国語 (入門、初級) 南 素羅	韓国語の文字、ハングルから学び、簡単な表現で話してみる講座です。挨拶や自己紹介はもちろん、いろいろな場面に役立つ言葉を習い、仲間と韓国語で話す楽しい時間になると思います。	月2回・全10回 第1・3火曜日 (第1回は10/3) ※1月は日程変更あり 10:00～12:00 (24名)
No. 3 世界文学紀行 ―名作の舞台を訪ねて― 清水 武	日本人によく読まれている名作の舞台を訪ね撮影した写真をパワーポイントで紹介していきます。最初に作品のストーリーをおさらいし、次によく知られた場面や登場人物が発した有名な言葉に解説を加え、関連するエピソードなどにも触れます。	月1回・全5回 第3水曜日 (第1回は10/18) 10:00～12:00 (24名)
No. 4 アジアの歴史、 再発見の旅 宮本 謙介	近年、アジアの歴史に関する研究が大きく前進し、新しい見方・解釈が次々に生まれています。最近の研究成果をできるだけ分かりやすく平明に解説し、新しいアジア史の見方に触れていただきます。あなたの歴史の理解に、必ずや新たな視野が広がることでしょう。	月1回・全5回 第1木曜日 (第1回は10/5) ※1月は日程変更あり 14:00～16:00 (24名)
No. 5 楽しいウォーキング講座 「令和の江戸を歩く・ 大名屋敷今昔物語」 手島 正夫	武家の都江戸には約600余の大名(武家)屋敷があり、屋敷面積は広大でした。五つの大名屋敷に預けられ、切腹した江戸の大事業赤穂浪士の終焉の地でもあります。明治になると新政府に没収され、上屋敷の多くは官公庁や大使館になりました。こんな歴史に思いを馳せながら大名屋敷跡等を楽しみ歩きましょう。歴史講座ではありません。 (各施設の入園料、現地までの交通費は各自負担)	月2回・全10回 第2・4木曜日 (第1回は10/12) 10:00～12:00(24名) ※フィールドワーク (初回は座学)
No. 6 名作小説「目ウロコ」 読解講座 片岡 力	漫然とストーリーを追うだけでは、小説を十分に味わい楽しんだとは言えません。読者の側から能動的に介入して初めて、作者が密かに込めていた意図や、時には作者が思いもなかった意味までが見えてきます。『走れメロス』や『細雪』などの名作小説を題材に「そんな読み方ってアリなの?」と驚くような「読みの冒険」にトライします。	月1回・全5回 第3木曜日 (第1回は10/19) 14:00～16:00 (24名)
No. 7 はじめての カラーコーディネート 根本 照美	色には様々な力があります。自分を魅力的に見せてくれる、癒してくれる、元気にしてくれる色。人生100年と言われる時代、これからの生活を彩り豊かに過ごすために、カラーコーディネートの技術を楽しんでみませんか?毎回、テーマに沿った実習でセンスを磨いていきましょう。 (教材費:カラーカード、ペーパーボンド、デザインペーパー他 合計1,500円)	月1回・全5回 第1金曜日 (第1回は10/6) 14:00～16:00 (24名)
No. 8 じきょうじゅつ 自強術 ―運動機能や自然治癒力 を向上させる― 池畑 珠江	自強術は1916年療法の天才といわれた中井氏の治療術から工夫された「万病克服の治療体術」です。現在のマッサージ、指圧、カイロプラクティック、整体術、有酸素運動、ストレッチ、筋トレの要素が盛り込まれ呼吸法を兼ねた健康体操です。31の動作があり各人の身体の状態に応じ、可能な限り極限まで動かす全身運動です。	月2回・全10回 第2・4金曜日 (第1回は10/13) 14:00～16:00 (24名)
No. 9 レコードで楽しむ 音楽の旅 本田 純	今、静かなブームになっているレコード音楽を聴いて、昔聴いた懐かしい音楽への旅を楽しみましょう。①歌謡曲②ムードミュージック③映画音楽④ジャズ⑤クラシック等、色々な音楽を楽しむ旅へ出かけましょう。	月1回・全5回 第3金曜日 (第1回は10/20) 14:00～16:00 (24名)

No.・講座名・講師名	講 座 内 容	回数・曜日・時間・定員
No. 10 平家物語 西海に消えた 一門興亡の歴史と文学と 織茂 一行	平家物語は我が国を代表する国民文学と評価されています。一門の栄耀栄華を誇った全盛から、一転壇ノ浦での滅亡を描く叙事詩とも形容されています。しかしそれら有名な義経活躍の谷合戦・公達敦盛の最期等、物語は事実を正しく伝えてくれたのでしょうか。斬新な視点から物語を届けます。目を見開いてください。	月2回・全10回 第1・3土曜日 (第1回は10/7) 10:00～12:00 (24名)
No. 11 わかりやすい旧暦の話 山下 敏夫	旧暦は、1872(明治5)年以前迄使われていた暦です。旧暦の一般的な知識(二十四節気・恵方・六曜等)を学び伝統行事や事件にふれ、暦との関連(満潮・干潮・満月・朔)でおきたことを学んでいきます。面白い大小暦・地方暦も紹介。時間が許せば判じ絵もお話しします。	月1回・全5回 第1土曜日 (第1回は10/7) 14:00～16:00 (24名)
No. 12 グッと身につく宇宙の話 —天文学への誘い— 菅井 昇	季節ごとに夜空を彩る星座。その多くは、ギリシャ神話などのロマンあふれる物語が秘められています。それらを紹介し、さらに私たちの地球とその仲間たち、宇宙のなりたちと生命はどこから来たのか、測量と天体観測、地球外生命など最新情報をわかりやすくひも解いていきます。	月1回・全5回 第4土曜日 (第1回は10/28) 10:00～12:00 (24名)
No. 13 はじめての ハワイアンリボン 竹村 留美子	ハワイ伝統のレイをリボン・ヤーン・ラットテールコードなどを使って作るハワイアンクラフトです。リボンを編んだり、縫ったり、パーツを作って繋いだりの技法を用いながら季節に合わせたカリキュラムを取り入れ、ミニリース・ストラップ・バッグチャームなどの小物を作成します。 (材料費:キット糸込み・マーキングシート、1回1作品作成 合計7,300円)	月2回・全10回 第1・3土曜日 (第1回は10/1) ※2月は日程変更あり 14:00～16:00 (24名)

【募集期間】 2023 (令和5) 年6月1日(木)～7月7日(金) <当日消印有効>

【申込資格】 多摩地域30市町村に在住・在勤・在学の方が対象です。
(開講時に本人確認書類をご提示いただくことがあります。)

【申込方法】 記入例を参考に通常はがきでお申し込みください。

- ・はがき 1枚につき 1講座名を記入(2講座以上の記入は全て無効)
- ・1人で2講座までです。(3講座以上の申し込みは全て無効)

【抽 選】 ・応募者が定員を超えた場合は抽選になります。

- ・抽選結果は、7月22日(土)に当選者のみ封書で発送します。
- ・募集締切後、定員に満たない場合は、追加募集をします。
(15名以下の場合は、開講しないことがあります。)

【申 込 先】 〒183-0056 府中市寿町 1-5-1
府中駅北第2庁舎6F 多摩交流センター内「TAMA市民塾」

【問合せ先】 TEL 042-335-0111 (土・日・祝を除く 9:00～16:00)
Eメールアドレス tama_shimin_juku@true.ocn.ne.jp

【受講料】 5回講座 3,500円 全10回講座 7,000円
(教材費が別途必要な講座もあります。)
・期日までに受講料を払込みください。
払込方法については当選通知の中でお知らせします。
払込手数料は、各自負担とさせていただきます。

払込期限 8月22日(火) (払込期限が過ぎた場合は失効)

払込まれた受講料は理由を問わず返金できません。

【そ の 他】 ・講座のカリキュラムはTAMA市民塾のホームページで見ることができます。
(<https://tama-shimin-juku.com>)
・保育施設、駐車場はありません。
・ご応募いただく個人情報は、当該講座に関するもののみに使用します。

<はがき記入例>

63円	1830056
TAMA市民塾	府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F 多摩交流センター内

- 講座No.
- 講座名
- 氏名(ふりがな)
- 〒・住所
- 電話
 - 自宅
 - 携帯
- 年齢・性別

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

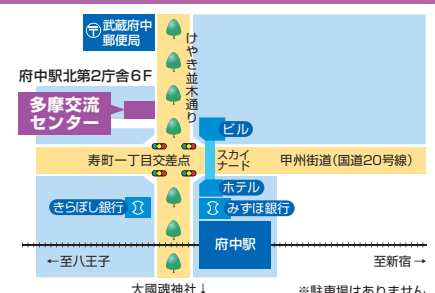
〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第27回 東大和市



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『旧日立航空機株式会社変電所』と『旧吉岡家住宅』を紹介するよ。

旧日立航空機株式会社変電所



1938年に建設された航空機のエンジンを作る軍需工場の敷地内にあったんだよ。電気の圧力を下げて各工場に分配する建物なんだ。外壁や内部に空襲の痕跡が残されていて、戦争の恐ろしさと平和の大切さを感じることができる貴重な文化財となっているよ。水曜日と日曜日に公開していて、内部の様子と展示を見ることができるんだ。



旧吉岡家住宅



旧吉岡家住宅は、農家で名主を務めた池谷藤右衛門によって、明治中期に建てられたよ。そして、1944年、日本画家・吉岡堅二が疎開のために東大和へ移り住み、1990年に亡くなるまでこの地で日本画の創作活動を行ったんだ。2017年5月2日付けで主屋兼アトリエなど4件が、国の登録有形文化財になったよ。



【現地案内】

◆旧日立航空機株式会社変電所

- ・公開日 毎週水・日曜日（年末年始除く）
- ・時 間 10:30～16:00
- ・入場料 無料

〈アクセス〉

- ・西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から徒歩5分



◆旧吉岡家住宅

- ・次回公開日 10月27日（金）～29日（日）（予定）
- ・時 間 10:00～16:00（入場は15:30まで）
- ・入 場 料 無料

〈アクセス〉

- ・西武多摩湖線「武蔵大和駅」から徒歩5分
- ・ちよこバス（市内循環バス）で「清水観音堂（郷土美術館）」下車徒歩1分



【情報・写真提供】 東大和市立郷土博物館 042-567-4800

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2023年6月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>（本紙のバックナンバーをご覧ください。）



再生紙を利用しています